

各位

2008年7月14日  
福島工業株式会社

～業界初！ CO<sub>2</sub> 排出ゼロの業務用冷蔵庫発売～

## カーボンオフセット (CO<sub>2</sub> 排出権) 付きインバーター冷蔵庫の発売について

福島工業株式会社（本社：大阪府大阪市西淀川区、社長：福島 裕）はこの度、業務用厨房機器メーカーとしては初めて国連 CDM 事業※1の排出権を取得し、9月よりカーボンオフセット(CO<sub>2</sub> 排出権)付きインバーター冷凍冷蔵庫を期間限定で発売する事となりましたのでお知らせいたします。

福島工業は、引き続き環境に配慮した事業活動を行うとともに、省エネ型製品の開発提案で温暖化防止を推進し、地球全体の環境保全に貢献して参ります。

### 【実施の背景】

ホテル、レストランなどで使用される業務用冷蔵庫は、家庭用冷蔵庫以上に高い冷却性能を求められるため、消費電力も大きく、お客さまサイドからの省エネルギー型製品への要求が年々高まっています。こうしたニーズを受け福島工業では、2006年から高効率インバーター制御冷蔵庫の開発を行い、2005年生産モデル(7シリーズ)に対してCO<sub>2</sub>排出量を50%削減可能なインバーター冷蔵庫を、昨年7月から販売しております。

しかし、使用時におけるCO<sub>2</sub>排出量をゼロにはすることはできません。そこで今回5年間使用時に排出される量※2のCO<sub>2</sub>排出権を株式会社三井住友銀行を通じて購入し製品に付与して販売することにより相殺（オフセット）し環境負荷低減する仕組みを導入することとしました。

### 【カーボンオフセットとは】

カーボンオフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO<sub>2</sub>等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量の削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等（CO<sub>2</sub>排出権）を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることをいう。

（環境省 我が国におけるカーボンオフセットのあり方について（指針）より一部抜粋）

## 【実施内容】

- ① 福島工業はインバーター冷蔵庫を 1 台販売するにあたり 1.4 t の CO<sub>2</sub> 排出権を取得し、日本政府の管理口座に償還目的で移転します。オフセットされる CO<sub>2</sub> はインバーター冷蔵庫で 5 年間使用した際の CO<sub>2</sub> 排出量に相当します。
- ② お客様は福島工業のインバーター冷蔵庫を購入する事で、間接的に CO<sub>2</sub> 削減活動に参加した事となります。
- ③ 福島工業はお客様の代わりに排出権を日本政府の管理口座に移転したことを記載した証明書を発行しインバーター冷蔵庫購入者に送付します。

## 【実施概要】

### ○ 購入形態

株式会社三井住友銀行との信託契約により購入

### ○ プロジェクト種類

インド風力発電プロジェクト

～タミルナドゥ Newsprint and Paper 社 6.75MW 風力発電プロジェクト～

(国連 CDM 理事会登録番号 1053 2007年5月25日登録)

### ○ 排出権契約量

1,000トン (CER クレジット※3)

### ○ 対象製品

インバーター制御冷蔵庫

インバーター制御冷凍冷蔵庫 (9月発売予定)

### ○ 販売期間

2008年9月1日～2009年3月31日まで

ただし今回購入した排出権がすべて引当てられ次第終了します。その際には

Web サイトにてご案内いたします。

※1 CDM 事業(クリーン開発メカニズム)・・・先進国と途上国が共同で温室効果ガス削減プロジェクトを途上国において実施し、そこで生じた削減分の一部を先進国がクレジット(排出権)として得て、自国の削減に充当できる仕組み。京都議定書で規定された柔軟性措置のひとつ。

※2 インバーター冷蔵庫の場合 5 年間の排出量は約 1.4t 排出係数は、環境省の「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン(試案 ver1.5)」を参照しています。

※3 京都議定書に定められる手続きに基づいて発行されるクレジット(排出権)のひとつです。今回は CDM 事業において生じた削減分のクレジット(排出権)である CER を使用します。